

## 農林中央金庫



### 担い手の所得増大支援の取り組み

#### 所得増大に向けた担い手コンサルティング活動

農林中央金庫は、信連、JAと連携し、担い手へのコンサルティング活動を強化しています。2021年度は186先、2022年度は301先、2023年度は306先で実施し、担い手が抱える各種経営課題の解決に向けたソリューション提案を実施しました。また、担い手へのコンサルティングに際しては、ソリューションの提案にとどまらず、実施状況の確認、ソリューションの実現に向けた担い手へのサポートにも取り組んでいます。

#### JAバンクの担い手コンサルティング 単年度実施先数

2021年度	186先
2022年度	301先
2023年度	306先

### 担い手へのソリューション提案・実現サポート

#### ① 農事組合法人百目木営農組合

農林中央金庫千葉支店取引先の農事組合法人百目木営農組合（以下、当組合）に対して、「担い手コンサルティング」を実施しました。

経営者に対するヒアリングや財務分析等を通じて、①主力品目である主食用米「ふさおとめ」「ふさこがね」の反収が地域平均を下回っている点や、②主食用米以外の収益源に乏しく、当組合の収支が主食用米の価格次第で大きく変動している点を経営課題として認識しました。

ソリューションとして、①JAによる適正な施肥設計および肥料メーカーとの共同試験栽培等を通じた反収向上策、②安定した収益の見込める新品目導入およびJAによる資金対応を提案し、翌年度決算期において税引き後当期利益で約9百万円の増加が実現しました。

今後も策定した実行計画の進捗や効果等をフォローのうえ、当組合の農業所得向上の実現に向けたサポートを継続していきます。



担い手コンサルを契機に取扱開始したWCSの刈取り作業

#### ② 新栽培法で「稲積梅」生産・加工の後継者確保

「稲積梅」は、富山県の固有種の梅です。その梅酒や梅干しなどへの加工のため、生産者が設立した法人が氷見稲積梅（以下、同社）です。

農林中央金庫富山支店は、2021年度より同社に「担い手コンサルティング」を実施。繁忙期の人手不足や従業員の高齢化、若年層の認知度の低さといった課題を把握しました。この解決に向けて農林中金は地元JAとともに、県の農林振興センターと連携して進める「V字形整枝樹形栽培」の導入を提案。梅では全国初となる栽培法で、樹高を3メートル程度に抑え、単位面積あたりの樹木数を通常の約3倍に増やすことにより、作業負担の軽減や収量の増加、植樹から収穫までの期間短縮などが可能です。

また22年度には、農業科学科に在籍する地元の高中生と同社との共同によるV字形整枝樹形栽培での植樹をコーディネート。稲積梅のブランドや生産性の高い栽培方法の浸透を図り、稲積梅のファン、そして後継者を若い世代から生み出すことを目指しています。



地元高校生と梅の植樹を行っている様子

